

上手なチャットや メッセージターの 使い方を知ろう

メッセージターだけに頼らず、メールや電話、直接会う
などから、一番ふさわしい方法を選べるようになります。



それぞれに得意なことがあります

チャットやメッセージターは、気軽に送れて、相手から
すぐ返事がもらいやすい反面、お互いに勘違いが起きやす
く、やりとりの時間も長くなりがちです。

電話で話をすると、メッセージターやメールよりも、お
互いの本当の気持ちが伝わりやすくなります。会って話を
すると、相手の嬉しい気持ちや悲しい気持ちがより共感し
やすくなるものです。



もっともふさわしい方法を考えてみましょう

小学生の中には、スマートフォンなどでチャットやメッ
センジャーの使い方を覚えると、ついそればかりになっ
てしまう人がいるようです。

もちろん、なかなか会えない遠くの人と連絡をとるには、
チャット、メッセージター、メールは便利でしょう。でも、
文字には表しにくい気持ちを伝えたい時には、電話をし
たり、直接会って話をする方が確かです。

相手にどんな目的で、何を伝えたいのかによって、もっ
ともふさわしい連絡の方法を選べるようになることが大切
です。



保護者の方へ

最近では、オンラインコミュニケーションのもたらす子どもたちへの弊害を心配
するあまり、「スマートフォンやパソコンでのコミュニケーションは本当のコミュ
ニケーションではない」などの極論も聞かれるところですが。しかし、情報社会・知
識社会となった現代では、直接会ったり電話したりのコミュニケーションだけに頼
るわけにはいきません。また今後のインターネット利用の高度化に伴い、距離や時
間の壁を超えられる機器ごしのコミュニケーションが使われる範囲は、仕事でもプ
ライベートでも、ますます拡大することが予想されます。

オンラインコミュニケーションをただ否定的にとらえるのではなく、それぞれの
利点と欠点をよく理解し、上手に使い分けられるようになることが最も大切です。